

段ボールベッド設置に挑戦 久遠塾が防災講座【白糠】

【白糠】町の公営塾「久遠塾」（皆添英二塾長）は18日、「防災講座」を白糠高校で開き、参加した10人が段ボールベッドや避難テントの設置に挑戦した。

同講座は、東日本大震災発生当時、東北地方で被災した同塾講師の柴澤大夢さんと中川雄貴さんが中心となり、同校の生徒や町民の防災意識向上を目的に昨年初めて実施。今回が2回目となる。この日は、町地域防災課の若生孝志主幹と太田耕平係長が講師として、参加した高校生7人と町民3人に段ボールベッドと避難テントの設置方法を伝授。

参加者は2グループに分かれ、講師のアドバイスを受けながら設置し、ベッドの感触などを確認した。同校1年の三浦和真さん（16）は「こういった体験をできるのはとてもありがたいし、勉強になった。機会があればまた参加したい」と話していた。（森崎博史）



[写真／段ボールベッドの感触を確かめる参加者ら]